

活動紹介!

ススキメソードバイオリン教室

ススキメソードは、主に音楽を通して子どもの才能を育てようとする、日本発の、今では世界へも広く展開している指導法です。一昨年、そのバイオリン教室が始まりました。

毎週水曜の夜に個人レッスンをしています。生徒さんもだんだん増えてきました。

バイオリンは、独奏だけでなく、アンサンブルも魅力の一つだそうです。毎年、周辺にある他の教室と合同で、本館にて発表会を予定しています。見学はいつも歓迎しています。



1月の催しから

- 10(金) HANATSUKI コンサート 
- 11(土) ひがしくるめこくさい映画祭 
- 12(日) 岩松ピア / 教室発表会 
- 18(土) 二十歳を祝う会
・ディスコパーティー 
- 27(火)~24(金) NPO 国際書画交流会 
- 24(金) 加賀ピア / 教室発表会 
- 26(日) くるめザ・コメディ 

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館継続利用団体の皆様へ

会館では、サークル活動の様子を多くの方々に知っていただくために、その内容を会館の広報誌「かけはし」やホームページ、掲示板などに公開しています。毎年3月に更新の時期を迎えます。1月より受付で更新のための用紙をお配りしております。よろしくご協力をお願いいたします。



会館事務室から



今月の話題 — 蛇

2025年は巳年です。干支では乙巳(きのとみ)です。乙は植物に例えるなら、しなやかに広がっていく美しい草花、巳は草木が極限まで成長した状態を表しています。つまり、努力してきたことが順調に進み、一気に力となって現れるという意味です。

巳にあてられた動物は蛇です。蛇が好きという人はめったにいません。あの不気味な姿と動きは、嫌いを乗り越えて恐れさえ感じます。蛇が邪悪なものを象徴であるとする考えが古くから世界各地で見られるのも頷けます。そのほか「執着」「嫉妬」「狡猾」など負のイメージもあります。歌舞伎で有名な「娘道成寺」では、果たせなかった愛への執着が蛇への化身となって恨みを晴らします。中国の民話「白蛇伝」は男女の美しい愛の物語です。展開も解釈もいろいろですが、蛇が美しい女に化けて恋を成就させようとしたという見方をすれば、狡猾さと蛇の姿が結びつきます。

しかし一方で、「神聖」「再生」「知恵」「永遠」「金運」など、プラスのイメージも合わせもっているのが面白いところです。おそらくその居住まい、脱皮、多産など、蛇の生態から考えられたものなのでしょう。日本には白蛇神社と名の付く神社がたくさんあります。それに白蛇は弁財天の使いとされているので弁財様には白蛇も祀られていることが多く、金運アップのご利益があると大切にされています。

金運も魅力的ではありますが、たとえ困難があっても挫折しても、知恵を絞り、そこから何度も再生する粘り強い蛇の姿を見習って、今年も素晴らしい年にしていただければと存じます。本年も成美教育文化会館をどうぞよろしくお願いいたします。

